



エンジニアの企業・案件選びにおいて「働く場所」がより重要に

ITエンジニアの企業・案件選びに関する調査



レバテック株式会社が運営する、エンジニア&クリエイターのための求人・案件紹介サービス『レバテック』(<https://levtech.jp/>)は、ITエンジニア 227名を対象に「ITエンジニアの企業・案件選び」に関する調査を実施しました。

記事本文はこちらからご覧いただけます。

<https://levtech.jp/>

<調査サマリー>

1. エンジニアの企業・案件選びにおいて、正社員は「年収が上がること」、フリーランスは「経験・知識が活かせること」を重視
2. エンジニアはオンライン選考・商談で企業担当者との意思疎通や現場の雰囲気の見極めに苦労している

3. コロナ禍をきっかけに、企業・案件選びにおいて「働く場所」も重要に

1. エンジニアの企業・案件選びにおいて、正社員は「年収が上がること」、フリーランスは「経験・知識が活かせること」を重視

正社員エンジニアが転職先の企業を決める一番のポイントとして最も多かったのは「年収が上がること(18.6%)」、次いで「希望する場所で働くことができること(11.5%)」「経験・知識が活かせること(9.7%)」「勤務(作業)時間や休日休暇が自分の希望となっていること(9.7%)」と続きます。

フリーランスエンジニアが案件参画を決めるポイントとして最も多かったのは、「経験や知識が活かせること(22.8%)」となり、年収よりも自らのスキルを活かせるかどうかを重要視していることがわかりました。

【正社員】 転職先企業の一番の決め手

※転職を希望していない人を除く

1位	年収があがる (18.6%)
2位	希望する場所で働ける (11.5%)
3位	経験や知識が活かせる (9.7%)
	勤務(作業) 時間や休日休暇が自分の希望となっている (9.7%)

【フリーランス】案件参画先の一番の決め手

※案件参画を希望していない人を除く

1位	経験や知識が活かせる (22.8%)
2位	作業時間や休日休暇が自分の希望となっている (13.2%)
3位	年収があがる (9.6%)



※回答数：114人

2. エンジニアはオンライン選考・商談で企業担当者との意思疎通や現場の雰囲気の見極めに苦労している

オンライン選考・商談※の経験有無について、「ある」と回答したエンジニアは25.6%となりました。

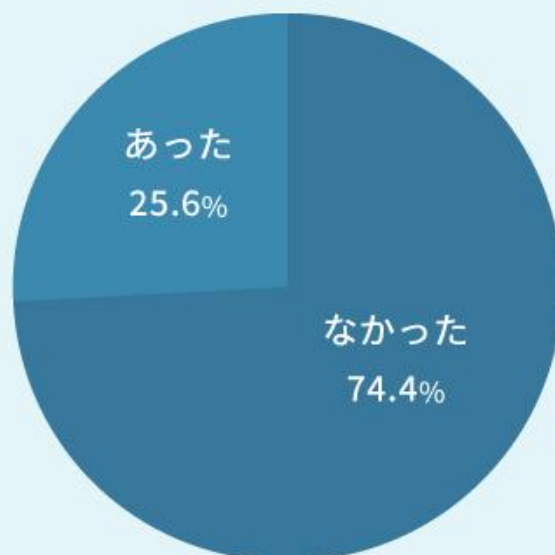
約4割のエンジニアが、オンライン実施が増えたことにより、選考や商談がやりづらくなったと回答。具体的にやりづらいつと感じた点について、最も多かったのは「面接官・PMと意思疎通がしにくい(45.8%)」となり、次いで「会社や面接官・PMの雰囲気が読み取りづらい(45.8%)」「通信トラブルが起こる(33.3%)」と続きます。

必要に応じてオンラインと対面を使い分けながらハイブリッド型で選考や商談を実施することで、エンジニアと企業担当者の双方が納得のいく結果に繋がります。

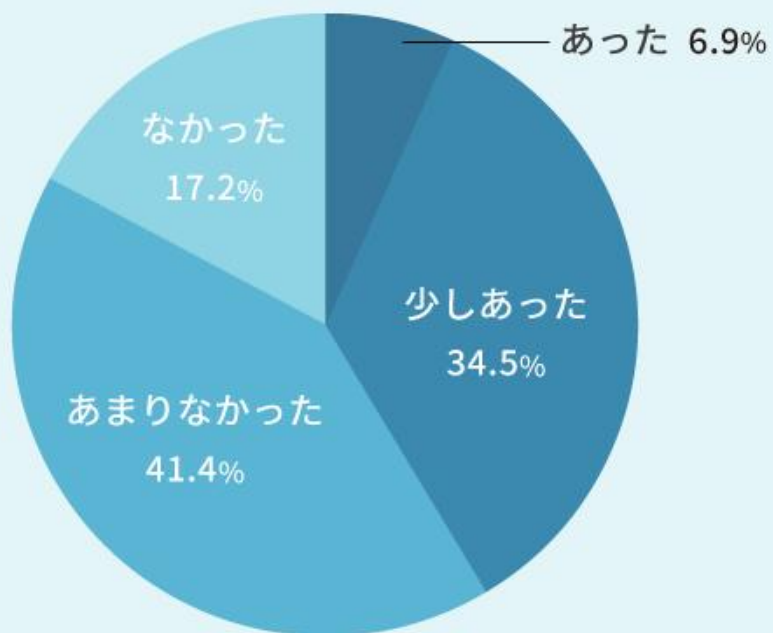
※商談とは、フリーランスエンジニアの案件獲得時に、企業の案件内容とご自身の経歴やスキル・希望条件とのすり合わせを行う場のこと

コロナ禍でのオンライン選考・商談※機会の有無

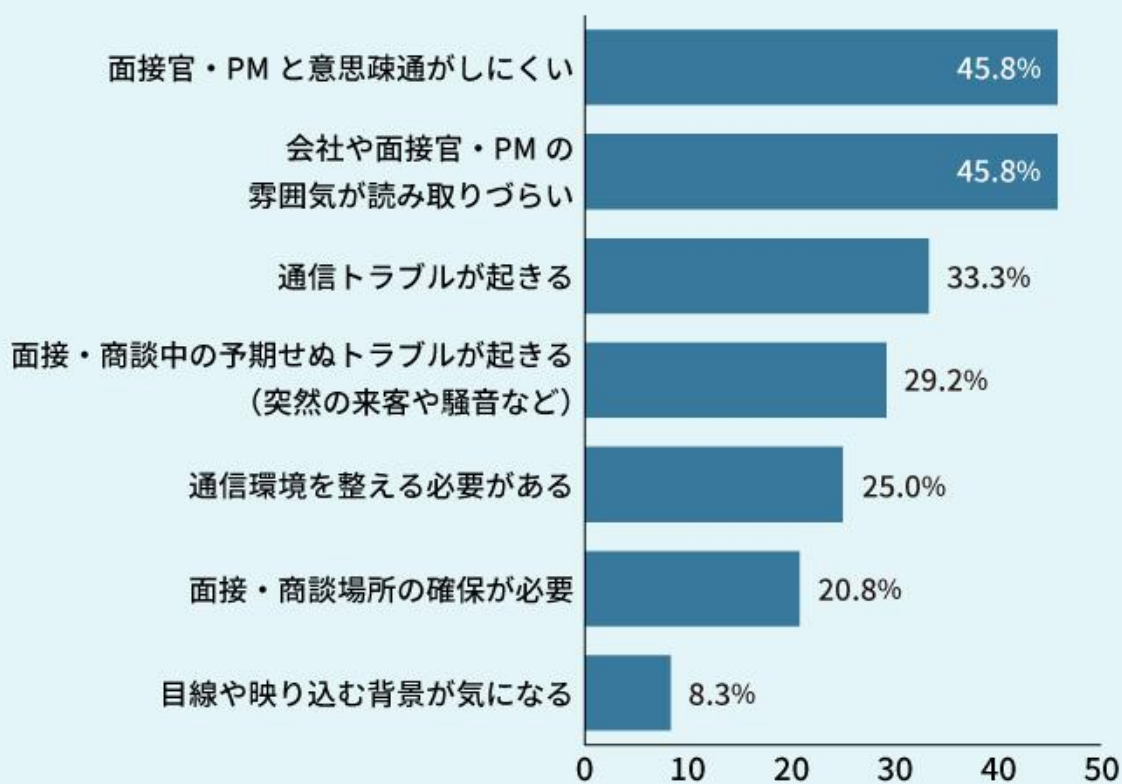
※商談とは、フリーランスエンジニアの案件獲得時に、
企業の案件内容とご自身の経歴やスキル・希望条件とのすり合わせを行う場のこと



やりづらいと感じた点



具体的にやりづらいと感じた点（複数回答）



3. コロナ禍をきっかけに、企業・案件選びにおいて「働く場所」も重要に

コロナ禍をきっかけに企業選び・案件応募の際に、決め手となるポイントは変わったかという質問では、正社員エンジニアの32.9%、フリーランスエンジニアの30%が「変わった」と回答しました。

決め手となるポイントが変わったと回答した人のうち、変わった点において正社員エンジニア、フリーランスエンジニアともに最も多かったのは「希望する場所で働くことができること」となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、リモートワークという働き方が浸透。企業・案件選びにおいて「働く場所」はより重要視されていることが見受けられます。

コロナ禍をきっかけに、 企業・案件選びのポイントは変わったか



【正社員】コロナ禍前の企業選びの決め手 コロナ禍をきっかけに変わったと感じるポイント（複数回答）

コロナ禍前		コロナ禍後	
1位	コロナ禍前に案件応募したことがない 27.4%	1位	希望する場所で働くことができる 40.7%
2位	年収があがる 18.6%	2位	自分のキャリアや成長が見込める 33.3%
3位	知識や経験が活かせる 13.3%	3位	年収があがる 25.9%
4位	希望する場所で働くことができる 8.8%	3位	勤務(作業)時間や休日休暇が自分の希望である 25.9%
5位	やりがいのある仕事に携われる 8.0%	5位	知識や経験が活かせる 22.2%
	自分のキャリアや成長が見込める 8.0%		やりがいのある仕事に携われる 22.2%

【フリーランス】コロナ禍前の案件選びの決め手
 コロナ禍をきっかけに変わったと感じるポイント（複数回答）

コロナ禍前		コロナ禍後	
1位	経験や知識が活かせる 24.6%	1位	希望する場所で働くことができる 45.8%
	コロナ禍前に案件応募したことがない 24.6%	2位	年収があがる 29.2%
3位	作業時間や休日休暇が自分の希望である 11.4%	3位	経験や知識が活かせる 25.0%
4位	年収があがる 9.6%		作業時間や休日休暇が自分の希望である 25.0%
	希望する場所で働くことができる 9.6%	5位	自分のキャリアや成長が見込める 16.7%
6位	やりがいのある仕事に携われる 7.9%		会社に将来性がある 16.7%



※回答数：コロナ禍前：114人、コロナ禍後：24人

まとめ

今回の調査では、エンジニアが企業・案件を選ぶにあたって、コロナ禍前には正社員エンジニアは「年収が上がること」、フリーランスエンジニアは「経験・知識が活かせること」を最も重要視していたことがわかりました。コロナ禍になり、フリーランスエンジニア・正社員エンジニアともに「希望する場所で働けること」を、より求めるようになってきていることも明らかになりました。

企業の採用担当者は、年収や業務内容が希望にマッチするかを考慮するだけでなく、働く場所の自由度や選択肢の提供も重要になっていることが考えられます。

<調査概要>

調査対象：正社員・フリーランスのITエンジニア

調査主体：レバテック株式会社

集計期間：2022/04/26 ~ 2022/04/28

調査方法：Webアンケート調査

有効回答数：227名

■レバテック株式会社 (<https://levtech.jp>)

レバテック株式会社では、「IT業界のエンジニア・クリエイターの人生に寄り添う」をミッションに掲げ、Web・IT業界のエンジニアと企業を繋ぐSES(システム・エンジニアリング・サービス)事業を展開しています。現在は業界最大手のフリーランスエンジニア専門エージェント「レバテックフリーランス」ほか、転職エージェント「レバテック

キャリア」など、エンジニア・クリエイターのキャリアアップのための様々なサービスを提供。累計登録者は20万人を超えます。



- ▽「レバテックフリーランス」フリーランスエンジニア専門エージェント
<https://freelance.levtech.jp/>
- ▽「レバテッククリエイター」フリーランスクリエイター専門エージェント
<https://creator.levtech.jp/>
- ▽「レバテックダイレクト」ITエンジニア・クリエイター専門求人サイト
<https://levtech-direct.jp/>
- ▽「レバテックキャリア」エンジニア/クリエイター専門の転職支援
<https://career.levtech.jp/>
- ▽「レバテックエキスパート」年収800万円以上のハイクラスエンジニアの転職支援
<https://career.levtech.jp/expert/>
- ▽「レバテックルーキー」エンジニアに特化した新卒向け就職支援エージェント
<https://rookie.levtech.jp/>
- ▽「レバテックカレッジ」大学生・大学院生対象エンジニア就活特化のプログラミングスクール
<https://rookie.levtech.jp/college/>

Leverages Group

社会の課題を解決し関係者全員の幸福を追求し続けることをミッションに、インターネットメディア・人材・システムエンジニアリング・M&A・不動産の領域で国や業界をまたいだ問題解決を行なっています。2005年に創業以来、黒字経営を継続し2020年度は年商507億を突破しました。各分野のスペシャリストが集うオールインハウスの組織構成と、業界を絞らないポートフォリオ経営で、時代を代表するグローバル企業を目指します。

本社所在地：〒150-6190 東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア24階 25階

代表取締役：岩槻知秀

資本金：5,000万円

設立：2005年4月

事業内容：自社メディア事業、人材関連事業、システムエンジニアリング事業
M&Aコンサルティング事業/ ASP/SaaS/クラウド関連事業

URL：<http://leverages.jp/>

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ

レバレッジズ株式会社 広報部
TEL: 03-5774-2900 MAIL: pr@leverages.jp